

石巻市震災復興ビジョンに係る提言

2011・05・15

小野田泰明

東北大学 都市建築学専攻 教授

onodayasuaki@gmail.com

1) 津波被害の複雑さ

多様な海岸線：半島、リアス式湾、沖積平野河口
複雑な挙動：河口部での津波の遡上、回り込み



- ・ 津波被害生起システムの正確な把握
津波・津波遡上・浸水・排水を含む時系列での理解
コンサルシミュレーション結果の共有
専門家による正確なレビュー
- ・ 既存土木ハザード、排水機能の評価



専門家の本腰での参画と
各種情報の集約と共有

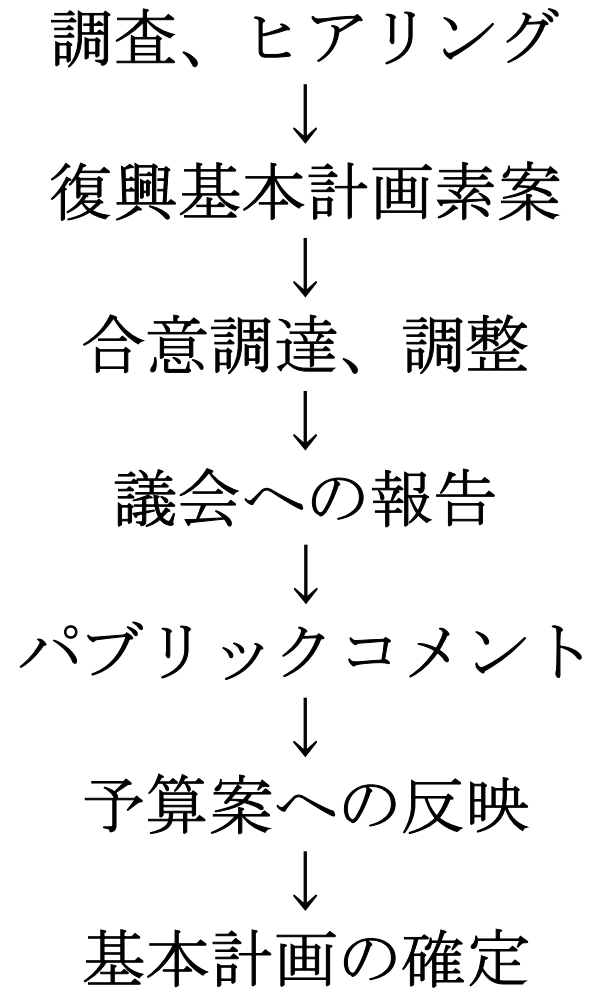
2) エリア特性に対応した対策の必要性

主な被害地：旧石巻、牡鹿、河北、北上、雄勝

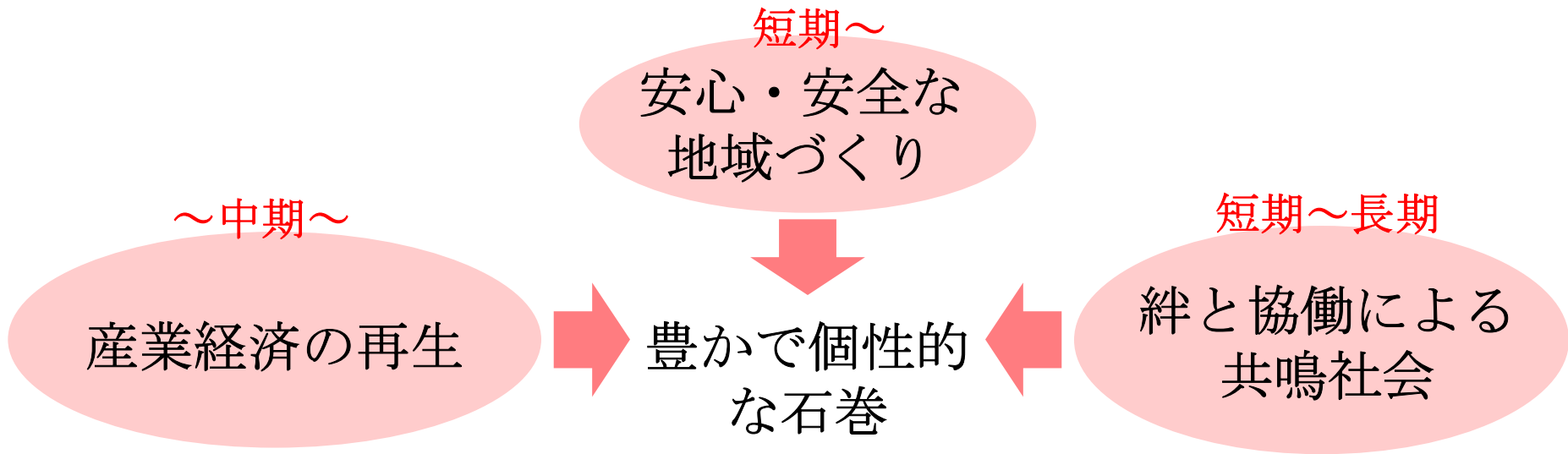


- 旧石巻：
 - 中心市街地の再生
 - 都市の個性の発掘と新商業地区との関係整理
- 牡鹿
 - 集落ごとのきめ細やかな調整、専門家の派遣
- 雄勝
 - 住民組織との対話と調整
 - 知名度を生かしたまちづくりの可能性精査
- 北上
 - 河川治水、長面浦、漁業の位置づけ、農地再生
- 河北
 - 河川治水、農地再生

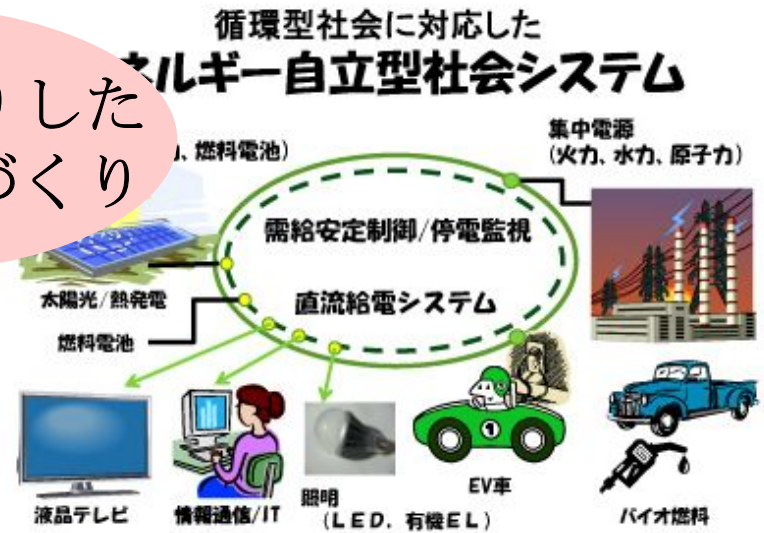
3) スピード感ある展開



4) 未来を見据えたまちづくりへの接続



～長期～
未来を先取りした
新しい地域づくり



亀山市長「復興にかける思い」より抜粋

5) マンパワー調達への戦略的配慮

- 原因の構造が複雑かつ巨大
部局間での断片的情報が共有されない
情報を整理する人材が不足
- 地域ごとのきめ細かい施策
多くのマンパワーが必要とされるが、調達困難
どこから手をつけていいかわからない
- 要求されるスピード感
オーバーフロー状態（問題が複雑なのに時間がない）
短期的最適解に陥りがち（計画立案時に合意調達後回し）
- 未来を見据えた大きなビジョン
後回しによるチャンスの喪失

5) マンパワー調達への戦略的配慮

- 1) 複雑な知見をコンパクトの調達する
ネットワーク型組織を持つコンサルタント
- 2) 高度な専門的人材を長期的に調達するための
研究教育機関との包括協定の締結
(高度な人材のインセンティブ、長期的取り組み可能に)
- 3) コンパクトな意思決定機構
- 4) 巧みなプロセス設計
計画立案→合意調達→事業化まで一気通貫な方法
(包括的まちづくり会議の早期の立ち上げ)
- 5) 多様なマンパワー調達方法
他組織と連動したワークショップ、調査の開催